

# 政策対談 デジタル化で戸田を持続可能な街へ



**野澤** 日頃の先進的な市政運営の推進に敬服いたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

**菅原** 野澤さんはソフトウェア会社の経営者としてビジネスの最前線で活躍されており、デジタル技術にも強いですね。戸田市でも行政のデジタル化による、行政手続きのワンストップサービスの実現を目指して取り組んでいます。

**野澤** 世界最先端の電子政府を実現した国、エストニアの人口はわずか130万人です。市町村程度の規模であればデジタル化への取り組みは行いやすいと思います。そこで戸田市では、最先端の技術や知識を持つ企業や個人、専門家を加えて組織した「戸田市DX(デジタルトランスフォーメーション)推進本部」を立ち上げ、最新の技術や手法を取り入れて、行政のデジタル化を促進したいと考えています。

**菅原** 平成30年に経済産業省より、DXの推進をしない場合、多大な経済損失が生まれる可能性がある」と発表されました。国でもデジタル庁が創設され、国を挙げてデジタル化の取り組みが進んでいますね。

**野澤** 市内でも、地域によっては障がい者や高齢者の買い物難民が増えつつあります。インターネットを使った買い物支援や、遠隔医療システムなど、デジタル環境は今後、生活を支える重要なライフラインとなっていくことは間違いありません。

**菅原** 戸田市では、生活の基盤となる、市民に有益なデジタル環境を整備すべく、研究を進めています。一方で、デジタル化と連動して、情報セキュリティや個人情報保護の重要性も増えています。また、大地震や自然災害

の他、ウイルスなど未知の驚異に備えるという観点も求められています。

**野澤** はい。デジタル化には効率性はもちろんですが、サービス品質や安全性も求められます。人の生活に寄り添ったデジタル環境を実現するためには、産官学民の連携が欠かせません。特に日本は少子高齢化社会で今後30年で深刻な人手不足が問題となります。デジタル技術を手早く活用し、すべての人が活躍し、社会のために役割を果たせる未来志向の社会基盤を今こそ構築すべきです。持続可能な社会を、我々の世代が後世に残していかなければなりません。

**菅原** 戸田市では、2019年に持続可能な開発目標(SDGs)先進度ランキング(日経グローバル)で、首都圏4位となりました。これは戸田市が、小さな都市ながらも環境保全活動に力を入れてきたことや、子育て支援への積極的な取り組みが評価された結果だと思えます。

**野澤** 行政のペーパーレスや、デジタル教育の推進など、デジタル化は様々な課題を解決できます。持続可能な未来都市を目指す戸田市の取り組みを、私も経験を活かして全力でサポートしていく所存です。

**菅原** 野澤さんは長年の企業経営の経験があり、PTAや地域活動にも熱心で、周囲からの信頼も厚く、非常に頼もしい存在です。野澤さんの挑戦を、心から応援しています。共に頑張ってください。

**野澤** 子どもたちを守り、頑張る人を支える市政を実現できるよう全力で頑張ります。本日はありがとうございました。

DX(デジタルトランスフォーメーション)/デジタル技術を活用し、ビジネスモデルや業務、組織などを変革していくこと

## 野澤しげまさ 先進的な取り組みを進め、持続可能な未来都市を目指す

1959年生まれ 栃木県宇都宮市出身 県立宇都宮高校・東京理科大学工学部卒 30代でソフトウェア会社起業  
【主な活動】 さくら草保育園 保護者会・後援会会長 戸田第一小学校・戸田中学校 PTA会長  
戸田第一小学校 学校運営協議会副会長 あいパル運営委員会 委員 こどもの国運営委員会 副委員長  
東町町会 副会長(ちびっ子プール担当) 戸田市聖火リレー記念イベント等実行委員会 委員  
戸田ふるさと祭り実行委員会 委員 菅原文仁後援会 事務局長

## デジタル環境の整備が市民の有益な生活を支える 戸田市長 すがわら文仁

1975年生まれ 美谷本小・美笹中・伊奈学園総合高校・日本体育大学卒業(教員免許取得)  
明治大学大学院修了(公共政策学)

【主な活動】 元社会体育会代表 戸田市議会議員(2期6年間)  
埼玉県議会議員(2期7年間) 平成30年3月第4代戸田市長に就任

野澤しげまさ事務所 TEL.090-2520-3359 戸田市本町1-21-20-1304

【メール】info@nozawashigemasa.com 【ホームページ】https://www.nozawashigemasa.com



# 野澤しげまさ 無所属

戸田をうごかす 即戦力

野澤しげまさの 5×3 アクションプラン

ホームページはこちら



